

# 学 習 日 誌

敬称略

11月25日（金）	講 師	①座間市環境政策課環境保全係 杉本 梨愛 佐々木 由貴 古川環境保全係長 ②郷土学習グループリーダー 岩宮 正治（4年）	
出席者数	54名	記 録 者	2年 6班 小笠原 敏雄
講 座 名	郷土学習講座1 「座間の水」		
プログラム担当者	郷土学習グループ 岩宮 正治		
時 間・場 所	13:30 ～ 15:30 、 第1集会室 にて		

## 【学習内容】

### ①座間市の地下水について→杉本 梨愛さん

～おいしい座間の水を守ろう～

- ・環境保全係の業務紹介→（1）公害対策。（2）地下水保全。  
（3）貯水槽の衛生管理。
- ・地下水保全のためには→（1）地下水を汚さない。  
（2）地下水を取りすぎない。



杉本、佐々木、古川

- ・涵養量（しみ込む水の量）と採取量（井戸からの汲み上げ）のバランス

- ・座間市の地下水保全条例について（平成10年4月制定）

都市化の進行で、雨水が地下に浸透できず、河川に流出や水害の発生が心配される。同時に地下水が減少する恐れがある。

雨水浸透施設等の必要性→雨水浸透柵、雨水浸透トレンチ、浸透性アスファルト舗装。

座間市では、雨水浸透施設等を奨励し、設置助成金を設けている。

- ・主な質問

- （1）キャンプ座間で水質汚染の疑いがある。調査要請しないのか。
- （2）リニア新幹線掘削で、座間の地下水に影響はあったのか、なかったのか。
- （3）目久尻川の湧水に洗剤の泡が流出している場所がある。下水に接続するなり、何とかならないか。
- （4）その他数件。

### ②座間水に関する予備知識とフィールドワーク見学コースの紹介→岩宮さん

次週12/2の「郷土学習2」について、主に芹沢・栗原地区を中心に、水源地・配水場・井戸の見学場所を写真で紹介。

【感想】毎日使用している水は、大半が地下水の恩恵を受けて、おいしい水である。水温が一定のため、今のシーズンは暖かく感ずる。そして夏は冷たい。これが正に自然の水という実感。地下水は環境に大きく関係していることが分かったが、保全の必要性より環境保護対策の必要を感じる。

多数の関連質問があったが、直接担当業務に直結しない上下水道の質問が多く、縦割り行政の特徴から控えめの回答に留まったことは、地下水のテーマが広範囲で、何を学習するのか、的を絞る必要を感じた。